

事業方式：PFI 法に基づく貸付（維持管理・運営型）

●那覇港管理組合が施設を整備し、SPC が運営を行う公設民営方式。

-
- 那覇港管理組合
- PFI 事業契約
PFI 法第 14 条
- 公有財産貸付契約
PFI 法第 69 条 6 項
- 貸付承認
- SPC
- ・琉球海運 (株)
 - ・(株) ニチレイロジ グループ本社
 - ・那覇地域貨物運送 協同組合
 - ・(株) 沖縄日本管財
- 賃貸借契約 (転賃)
- テナント
- ・倉庫業
 - ・自家倉庫として利用

■(株)那覇港総合物流センター(SPC)組成及び役割分担

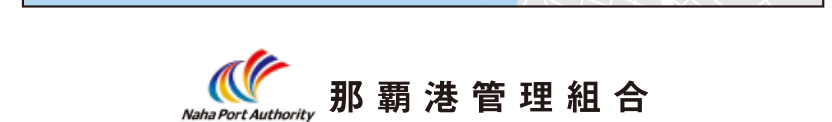
構成企業 [3 社] / (株) ニチレイロジグループ本社、
那覇地域貨物運送協同組合、(株) 沖縄日本管財
協力企業 [8 社] / 沖縄港運 (株)、(株) 沖縄急送、沖縄県黒砂糖協同組合
琉球物流 (株)、琉球通運 (株)、マルエー物流 (株)、
(株) ニチレイ・ロジスティックス九州、
(株) 日本プロパティソリューションズ

安全・安心かつ持続可能な運営体制を基盤に、実績・経験ある企業が集貨・倉貨に取り組み、中長期的なパラダイムシフトによる物流構造改革の実現を目指す。

※パラダイムシフト：これまでの常識や前提が大きくかわること。

物流棟 /15 区画

3階 / ドライ 5 区画 (沖縄港運 2 区画、マルエー物流 1 区画、琉球物流 2 区画)
2階 / 冷凍冷蔵 4 区画、定温 1 区画 (沖縄黒糖 1 区画、沖縄急送 2 区画、琉球通運 2 区画)
1階 / 冷凍冷蔵 5 区画 (ニチレイ・ロジスティックス九州 5 区画)



An aerial photograph of a large port facility. In the foreground, a large white and blue ship with "RKK LINE" written on its side is docked at a pier. The pier is filled with numerous colorful shipping containers (red, blue, yellow, green) and several yellow gantry cranes. In the background, there is a large, modern, curved building with multiple stories and a glass facade. The water is a deep blue, and the sky is clear.





沖縄からアジア各国へ、国際競争力を高める海上物流の拠点

那覇港総合物流センター



Concept

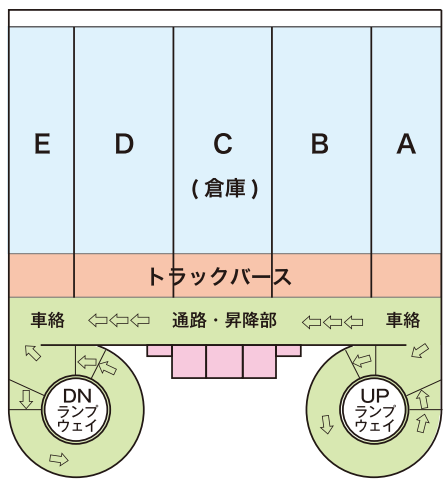
那覇港総合物流センターの目的は、東アジアの中心に位置する那覇港の地理的特性を活かした輸出入貨物の取扱拠点を形成するとともに、沖縄県と本土各地の国内物流ネットワークとの連携を深めることで国内外物流の結節点を構築し、関連産業の裾野が広い物流を通じて沖縄県経済の発展に貢献する事である。

■整備理念

那覇港総合物流センターは、本県の生活・産業関連貨物の大部分を占める港湾貨物を取り扱う那覇港において、集貨・創貨を促進することにより取扱貨物の増加を目指し、物流の高度化を図るとともに、流通加工等の新たな価値を生み出す付加価値型産業の集積を図る総合物流施設である。

- ◎那覇港総合物流センターは、那覇国際コンテナターミナルと国内貨物の取り扱い岸壁の中間に位置しており、国際物流機能の集積が期待される。
- ◎那覇港と那覇空港を結び「那覇うみそらトンネル」の開通によるアクセス性と那覇港総合物流センターの開業により、海上貨物と航空貨物とのSea and Airによる連携促進が期待される。

■平面図



★県内重要港湾 6 港の取扱貨物量
(公共貨物)のうち、那覇港が占める割合は、内国貿易が約 6 割、外国貿易が約 9 割

★那覇港と那覇空港の取扱貨物量で、那覇港が占める割合は、約 97%(2015 年)

★外貿・内貿コンテナの総取扱量は、570,582TEU であり、我が国第 7 位(2017 年)
外貿コンテナ取扱量は、80,638TEU であり、我が国第 16 位(2017 年)内貿
コンテナ取扱量は、489,944TEU であり、我が国第 3 位(2017 年)

■設立の経緯

- | | |
|------------|---------------------------|
| 平成24年 | 可能性調査 |
| 平成25年 | 基本設計 |
| 平成26年 | 実施設計 |
| 平成27年 11 月 | 工事着手 |
| 平成30年 12 月 | 本体工事完了 |
| 令和元年 5 月1日 | (株)那覇港総合物流センター (SPC) 一斉開業 |

階 数	物流棟：3 階
	事務所棟：7 階
構 造	物流棟、ランプウェイ：RC造
	事務所棟：鉄骨造
敷地面積	26,400.73㎡
建築面積	15,369.81㎡
のべ面積	45,828.35㎡
専用区画	各階10,495㎡、合計 31,485㎡
最高高さ	26.61m
総事業費	約 93 億 8 千万円

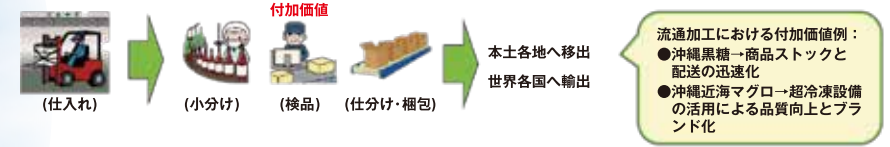
物流の高度化を図り、物流加工等の新たな価値を生み出す！

那覇港総合物流センターの導入機能のイメージ

①物流の高度化：保管、積み替え、検査、混載



②付加価値の高い貨物を創出



当地区に上記のような組立加工企業を誘致するため、各種優遇制度を活用できる“国際物流拠点産業集積地域”に指定

